

市長からの



発信

『未来と自然プロジェクト研究』 最終プレゼンテーション

皆さん、こんにちは！

今年初めての「市長からの発信」です。今年も皆さんにお伝えしたい私の想いを発信していきま

すので楽しみにしてください。

今回は、1月31日に最終回を迎えました『未来と自然プロジェクト研究』についてお話しします。少子高齢化が進む中、地域課題も複雑化多様化しており、課題解決のためには自治体だけではなく、地域全体が共通認識を持つて取り組む必要があります。そこで、市制70周年記念事業の一環として本プロジェクト研究を実施しました。この研究は、日本ガイシ株式会社からの企業版ふるさと納税を活用し、事業構想大学院大学の事業構想立案のノウハウを活かしたサポートにより、産官学連携が実現したものです。「瑞浪市をより良くしたい」という熱意をもった方を公募し、8名の研究生を選抜、この8名に市職員2名を加えた

計10名にて、昨年6月からプロジェクト研究がスタートしました。8カ月間、全19回にわたり大学の講義やフィールドリサーチ、研究生同士のディスカッションを重ねて1人1つの事業構想をまとめていただきました。研究生の皆さん、本当にお疲れさまでした。また、研究生が所属する事業所の皆さん、研究生の受講にご理解をいただき、感謝申し上げます。

最終プレゼンテーションには、商工会議所、観光協会、青年会議所、市議会議員、自治会の皆さんなど広くお知らせし、それぞれが展開する事業への導入やヒントにしていただくことを期待してご出席いただきました。事業構想は、地域特性を活かしたものの、新しい仕組みの構築や既存システムをアップデートするもの、化石やゴルフ等、市の魅力を活用したものなど、研究生の皆さんの「瑞浪市をより良くしたい」という熱意が溢れているものばかりでした。バラエティに富んだ素晴らしい構想でしたので、市事業への導入や早期実施の可否、実施主体の選考を伴う具体的な事業展望など、今後の取り組みについて検証していきます。

研究生の皆さん、夢のあるご提案ありがとうございました。

市長 水野光二

